＜論点＞

◆今回は、議論を通して２章までの筆者の立場を整理しましょう。

◆この参考書のキーワードの一つに「教育の不平等」がある。

ＢＵＴ　それが一体どのようなものなのか、ということに関して詳しくは言及されてはいない。

そこで！　本文から読み取ってみよう！

**論点１（確認）：筆者の想定する「教育の不平等」とは？**

**論点２：論点１を踏まえた上で、２章全体の筆者の主張の限界についてどう捉えるか。**

――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

この論点に至った背景

◆イントロを振り返ると、この参考書は今後、「教育の平等を高めることで、社会的結束を高める」という方向で進められていくことがわかる。

ＢＵＴ　筆者も自ら指摘しているように、「教育の平等・不平等」自体の定義、社会的結束との関係性は複雑であり、しかも本文中では明確に定義されていない。

よって、「教育の平等・不平等」について考えるにあたっては、筆者の主張や立場からはカバーしきれない議論もでてくるであろうと考えた。

ＳＯ　批判的にこの参考書を読み進めていくためにも、筆者の主張について私たちの中でおさえておく必要がある。

なお、本章の詳細な内容について検討することは、統計の知識が浅いために私たちには少々困難と考えられるので、今回は内容ではなく、筆者の「立場」を整理してみようと考える。